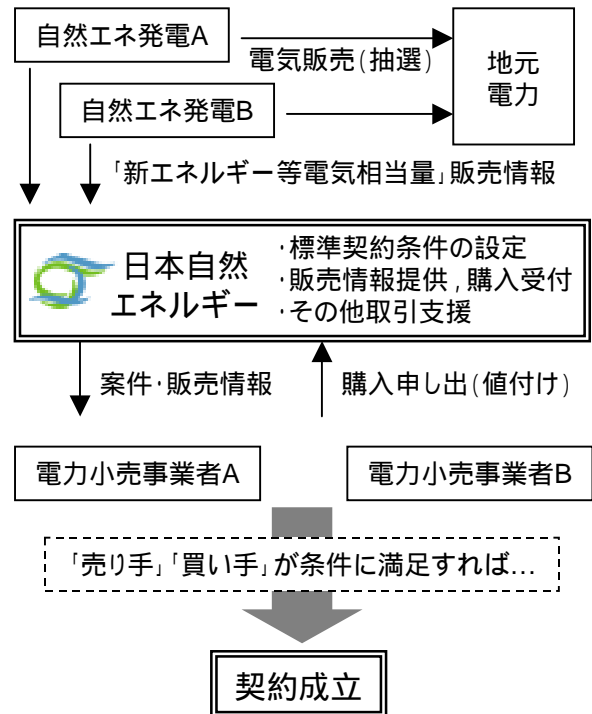


# 「新エネルギー等電気相当量」(RPS) 取引仲介サービスとグリーン電力証書システム

## 1. RPS取引仲介サービス

- (目的) ・RPS取引の円滑・標準化による取引コスト合理化  
 ( 自然エネルギー導入の促進)  
 ・グリーン電力証書で培ったノウハウの活用  
 (事業者間ネットワーク, 環境付加価値契約)
- (経緯) ・北海道電力殿の新制度を契機に本年2月開始  
 (わが国で初めての取引仲介サービス)  
 ・東北地区の風力も対象化
- (特徴) ・風力発電の特性を踏まえた, 実践的な契約条件  
 ・オープンかつ明快な運営(手数料, メカニズム等)  
 ・Webを最大限活用した, 低コストなサービス
- (実績) ・延べ4地点の販売情報を買い手へ提示済み  
 ・現在のところ, 実際の成約には至っていない  
 ・系統連系の(抽選による)不確実性  
 ・買い手側の, 既存RPS保有量の不確実性
- (今後) ・バイオマス, 小水力等への適用拡大  
 ・新設分に重点を置きつつ, 既設分の適用も検討



## 2. グリーン電力証書システム

- (考え方) ・RPS等, 供給サイドの政策と相互補完的に機能する導入促進手法として, 引き続き推進
- (理由) ・需要サイドの多様な選択肢の確保  
 (エネルギーユーザーの温暖化・省資源対策)  
 ・自然エネルギー事業者に対する,  
 「自助努力で量を拡大できる市場」の提供  
 ・自然エネルギー立地に対する理解増進
- (手法) ・供給サイドの政策に対する「追加性」の確保:  
グリーン電力証書分kWhは当分RPSの実績としない!  
 ・RPSの対象から外れた自然エネルギーでも,  
 中身次第でグリーン電力の対象となりうる。  
 (例) ・地熱発電・1,000kW超の環境調和水力発電
- (実績) ・累計顧客36団体, 4,100万kWh/年
- (課題) ・社会的支援制度の未整備  
 (現状, 法的評価なし 企業損金計上の困難性)  
 ・RPS導入による, 電力購入価格の急速な低下
- (今後) ・各セクターと協調した, 社会的認知度向上  
 (「自然エネルギーを選ぶ」認識の醸成)  
 ・温暖化政策(経済的措置)との連動訴求  
 ・電力自由化拡大に向けた商品設計

